



mjet

ミンガラバーMJET News Letter

13-3-504, Minami Motomachi, Shinjuku-ku, Tokyo Japan 160-0012
Tel: 03-3353-6377, Fax: 03-3353-6377, E-mail: info@mjet-tokyo.com



2018年度植林ツアーを実施

463本を植林しました！

8月18日から26日まで、植林ツアーを実施しました。今回はEast Phwar Saw村において、90人の村人の参加を得て、463本を植林しました。日本からは8名(正会員4名、学生2名、一般社会人2名)が参加、Nature Loversから3名が参加しました。



藤村の森を背景に村人と植林チーム

当初はThant Sin Kyae村の池の傍の枯れたチークの森とEast Phwar Saw村の藤村の森の改植を考えしていました。しかしながら、Thant Sin Kyae村では村人自身で約376本の改植を終えていました。East Phwar Saw村では藤村の森に隣接する平地を用意しているとのことで、ここに植林することになりました。この平地はとても広くて来年以降も1000本は軽く植林できそうな土地でした。問題はここに水を運ぶためには坂道を上る必要があるため、井戸からビニールパイプを引っ張ってやりの労働を軽減する計画です。

女子学生もフィールドワークを完遂！

今年の新しい活動として、学生の卒論の研究テーマ発見を支援しました。

茨城大学から参加した2人の女子学生は卒論のテーマ研究の一環としてフィールドワークを Thant Sin Kyae村と Indaing村の2つの村で行いました。

1. 河野さんは循環型経済が近代消費財の流入によって、環境問題が問題になってきていることを取り上げました。

主たる調査項目は以下のようなものでした(所帯主用):

- 農村の概要
- 従来の循環型社会の仕組み
- 近代消費財の流入
- 近代消費財の消費後の処理方法
- インダイイン・モデルの有益性と限界



2. 石井さんは上水道が村に設置されたことによる、農村の生活、特に女性のエンパワーメントにどのような変化が生じたのかをとりあげました。

主たる調査項目は以下のようなものでした(所帯主用):

- 農村の概要
- 村人のジェンダー意識
- 給水システム
- 個別給水システム普及による変化



質問票は事前にJICAのZaw Zaw Aungさんにミャンマー語に翻訳してもらい、最初に村に到着した時に村長さんに趣旨を説明して村人に配布してもらいました。

このため、質問票を村毎に各自が各村で10枚ほど集めることができ、二つの村で村長と村人にインタビューが出来ました。



ミンガラバーMJET News Letter

13-3-504, Minami Motomachi, Shinjuku-ku, Tokyo Japan 160-0012
Tel: 03-3353-6377 Fax: 03-3353-6377, E-mail: info@mjet-tokyo.com



熱気が爆発した運動会！

今回はチョーカン村とタンシンチェ村の両方の小学校で運動会を行いました。

チョーカン村

小中学生全員が学年別に紅白に分かれ、6つの種目の運動会を大張り切りで行いました。

ジャマジャマ玉入れ:KG, G1, G2 生

相手側のG4生が一人、棒の先にうちわをつけて玉入れを妨害するゲームです。



投げた球をG4生がうちわで叩いてジャマをする

台風の目:G3, G4 生

台風の目のように4人が棒を持って走り、立っている人の周りを1周して、元に戻り、チームの足の下をすくつてから次の人に渡してリレーします。



竹竿は村の小学校の校長先生が作りました。

デカパンリレー:G5, G6 生

大きなパンツを二人で履いて、走ってリレーします。



キャタピラー競争:G7, G8 生

人が袋に入って、手で匍匐前進して速さを競います。



電車リレー:G7, G8 生

生徒5人がロープの中に入って、一斉に走ってリレーし速さを競うゲームです。



ムカデ競争:G6, G7, G8 生

生徒9人が百足のように足を縛って走り、リレーするゲームです。



タンシンチェ村

タンシンチェ村は幼稚園からG4生までの生徒70名が参加して、3つの種目で運動会を開催しました。

玉入れ:KG, G1, G2 生



キャタピラー競争:G3, G4 生



キャタピラーは右に左に曲がって走りました。皆、必死で走ったね！

運動会について、校長先生は当初、何をするのかといぶかっておられたが、ゲームが始まると、生徒達の歓喜と声援にびっくり。また、ゲームの中で生徒達のキャタピラーが右や左に傾いて走るのを見て、大いに笑いこけておられました。

運動会は子供達の日頃のうつ憤を発散させるばかりでなく、校庭を走り回って健康にも良いので、今後は先生達が自分たちで運営されるようになるかもしれません。子供達の歓声が村中に響き渡った半日でした。



mjet

ミンガラバーMJET News Letter

13-3-504, Minami Motomachi, Shinjuku-ku, Tokyo Japan 160-0012
Tel: 03-3353-6377, Fax: 03-3353-6377, E-mail: info@mjet-tokyo.com



ゴミ収集・処理進捗状況報告ワークショップ

3月に開催されたワークショップにおいて、インダインモデルの5つの要素を自分の村で実行する計画が合意されました。

今回は6つの村から代表者を招いて「進捗状況報告ワークショップ」を開催しました。各村の代表者が、インダインモデルの5つの要素のどの部分を達成したかを発表した結果、それぞれの村で一生懸命努力していることが伺われました。



インダインモデルの5つの要素

1. 美化委員会の設置
2. ゴミ収集箱の設置
3. 焚却場の設置
4. 環境教育の実施
5. ゴミ埋め立て場の建設

最後に村人参加者全員によって、進歩賞を1位から3位までを選出しました。

- 1位: インダイン村
- 2位: チョーカン村
- 2位: コンタンジー村



1位: インダイン村



参加者全員



2位: チョーカン村



2位: コンタンジー村

2つの小学校で環境教育

タンシンチェ村: G4生

河野さんが「光の性質」について授業を行いました。
①光は明るい。②光は直進し、はね返すことができる。③光は熱を持っている。④光は色をもっている。



ピョウセイピン村: G3生

石井さんは「水の性質」について授業を行いました。
①水は温度が変わると形が変わる。②入れ物を変えても水の量は変わらない。③水は物を溶かす性質がある



植林ツアー事前勉強会を開催

植林ツアーの準備のための勉強会を以下のとおり3回、開催しました。

第一回: 5月26日(土): 午後3時~6時@MJET事務局

- ミャンマーの社会経済事情(藤村建夫: MJET会長)
- 論文の書き方: 藤本耕士(MJET監事: 拓殖大学名誉教授)
- ミャンマーでのフィールドワーク計画(参加学生)

第二回: 6月23日(土): 午後2時~5時@MJET事務局

- ミャンマーの環境問題の現状と問題点(神田道男理事)
- 「環境教育」の新モジュールの開発

第三回: 7月21日(土): 午後2時~6時@MJET事務局

- ミャンマーの教育改善ニーズ(Dr. Thi Thi Lay、城西大学客員教授)
- 経済開発におけるエコツーリズムの役割(中嶋真美、玉川大学准教授)
- ミャンマーでのフィールドワーク計画の改訂(学生)

